



「安全大会2013 in 関西」開催

～「安全は自分自身が責任者 初心にもどって“再確認”」ヨシ！～
 —NTTグループと通信建設会社が合同開催—

情報通信エンジニアリング協会 関西支部

はじめに

関西エリアのNTTグループ5社、通信建設会社5社、ITEA関西支部の11社の合同開催により1,828人が参加し、2013年12月3日インテックス大阪（大阪市住之江区）にて、「安全大会2013 in 関西」が開催されました。

今回の目的は、職場における労働災害防止施策の一環として、NTTグループと通信建設会社で発生した重大事故をリアルに再現し、事故の恐ろしさ・悲惨さを再認識し啓発するとともに、実際に疑似体験することによって事故の再発防止を図ることです。

開会にあたりNTT西日本 関西カンパニー長 太田 真治様（写真1）から、「安全に対する取組みについては、安全パトロールをはじめ各会社間のクロスチェック等、いろいろな安全施策を日々行い努力していただいているが、事故が起きている。関西では4月に兵庫で、一昨年も大阪で死亡事故が起きている。仲間の命を失う

ことは痛恨の極みであり、二度と発生させないよう日々継続的な努力をしていかなければならない。また、お客様情報の取扱いにおいても事故が起きている。お客様情報の適切な取扱い自体が、お客様の安全を守ることに繋がっている。他の事故でも、お客様情報の取扱いでも共通することは、守らなければならないことをしっかり守るということである。このことを肝に命じて、この安全大会を有意義なものにしてほしい」との開会挨拶がありました。

また、ITEA関西支部長 高江洲 文雄（写真2）から「安全は一人ひとりが事故を起こさない、仲間の命を守る取組みが基本になる。今日行うさまざまなデモは、私たちの身近に起こった事例を模擬実施するもので、少しのミスが重大な事故につながることを体験していただき、明日からの自らの仕事に反映してほしい」との開会の挨拶がありました。引き続き演習スタッフ2名（写真3）による安全宣言があり、安全大会が開始されました。



写真1 太田NTT西日本
関西カンパニー長
開会挨拶



写真2 高江洲ITEA関西支部長
開会挨拶



写真3 安全宣言
NTTネオメイト関西支店
ネットワーク部 金山 貴嘉
ミライト・テクノロジーズ
土木事業本部 小林 大介

作業中事故実演・演習

NTTグループで発生した重大事故を具体的に再演し、事故の恐ろしさ・悲惨さを疑似体験するため、表1の作業中事故の再現演習5項目①～⑤を行いました。

表1 作業中事故の再現演習

①電柱からの転落事故の再現

光ケーブル新設工事において、電柱から降りる際、障害物を避けようと本ロープを外した時に転落し負傷した事故を再現



②高所作業車使用時の事故の再現

光ケーブル新設工事において、高所作業車を坂道に前上がりに駐車し後ろ側のアウトリガーを張り出したところ、高所作業車が滑り出し、作業者が高所作業車と電柱の間に挟まれ死亡した事故を再現



③スレート屋根からの転落事故の再現

フレッツ開通工事において、工場のスレート屋根に上り、光屋外線を引き留めようとしたところ、スレート屋根を踏み抜き、約8m下のコンクリート床に転落し負傷した事故を再現



④垂下り引込線による引っ掛け事故の再現

引込線新設作業において、引込線を電柱側に取り付けるため高所作業車で作業中、引込線が通りかかった自動車に引っかかり、作業者が高所作業車から転落負傷した事故を再現



⑤車両飛び込まれによる事故の再現

マンホールで排水作業中、軽自動車が飛び込み、防御車に衝突、作業者が防御車とその前方に停車していたポンプ車との間に挟まれ死亡した事故を再現



体験・体感

傾斜地での高所作業車逸走事故、スレート屋根からの転落事故等最近発生した事故を教訓とした体験・体感の他、AEDを用いた救急・救命措置講習を行いました。

- ・安全活動・安全器具等の説明・紹介 ①～⑥
- ・作業中事故の体験・体感 ⑦～⑫
- ・交通安全体験・体感 ⑬～⑭
- ・防災・災害機器等の実演 ⑮
- ・救急・救命措置講習 ⑯
- ・再発防止実演・演習 ⑰

表2 体験・体感

①ドライブレコーダーを使用したKY



②車両飛び込まれ事故防止器具・施設等



③災害復旧支援活動



④5S活動の実施状況



⑤脚立作業の基本動作



⑥作業中各種事故防止ビデオ上映



⑦梯子のすべり体験

壁に立て掛けた梯子の下部をすべらせた時の不安全状態について体験する。



⑧衝撃体験

転落時の衝撃をマットへの倒れ込みにより体験し、転落用防止器具の重要性について実体験する。



⑨スレート屋根踏み抜き体験

スレート屋根の歩行、踏み抜きを体感することによりスレート屋根の脆弱性について実体験する。



⑩電気の怖さ体験

電工ドラムの焼損、養生不備による短絡の展示、電磁接触開閉器の展示、短絡事故の実演等により電気の怖さについて体験する。



⑪高所作業車地盤養生不良における危険体験

バケット車を地盤養生不良個所でセットした場合における、危険性を実際にバケット部に乗込み、自分自身で体験する。



⑫傾斜地での高所作業車設置体験

バケット車により傾斜地で作業を行う時、バケット車の設置場所やアウトリガーの張出し方等、必ず守らなければならない基本操作等について体験する。



⑬車両飛び込まれ防止対策(信号方式)



⑭プリクラッシュセーフティシステム搭載車試乗体験



⑮UMC・小型ポータブル衛星等の実演



⑯救急・救命措置講習AEDを用いた実演



⑰再発防止実演・演習
「不安全行動」「不安全状態」の根絶を目指した実演・演習

- ①導入から健康KY
- ②指差し唱和
- ③タッチ&コール
- ④指差し呼称



写真4 体験・体感模様

展示

展示（写真5）では、①・②最新型高所作業車、③はしご・脚立・作業台等、④高所作業車の接地マット等、⑤ヘルメット等、⑥カラーコーン用立体表示カバー他、⑦電柱防護シート等、⑧LEDワークライト・LEDベス

ト等安全商品、⑨各種測定機器等、⑩電柱防護シート等、⑪安全保安用工具等、⑫バーチャル立体保安標識、⑬脚立用転倒防止装置セーフティライダー、⑭大型ベルブロック、⑮継コンクリートポール、⑯電柱切断機、⑰移動電源車 500KVA、⑱災害時の連絡ツール衛星携帯電話等の展示・紹介を行いました。

写真5 展示



①最新型高所作業車



②最新型高所作業車



③はしご・脚立・作業台等



④高所作業車の接地マット等



⑤ヘルメット等



⑥カラーコーン用立体表示カバー他



⑦電柱防護シート等



⑧LEDワークライト・LEDベスト等安全商品



⑨各種測定機器等



⑩電柱防護シート等



⑪安全保安用工具等



⑫バーチャル立体保安標識



⑬脚立用転倒防止装置セーフティライダー



⑭大型ベルブロック



⑮継コンクリートポール



⑯電柱切断機



⑰移動電源車 500KVA



⑱災害時の連絡ツール衛星携帯電話等



写真6 展示模様

おわりに

閉会にあたり、NTTフィールドテクノ 関西支店長 岸本 照之様（写真7）から「今日のこの大会の結果を、明日の朝礼、明日以降の業務に取り入れ小さなことから実施していただきたい。安全は繰り返し粘り強く取り組むことが重要で、まず自分自身の身を守る、仲間の身の安全も自分が守るという強い決意を持って仕事を進めていただきたい」と閉会の挨拶があり、全員で安全唱和（写真9）を行いました。

今回の大会を契機として、「人身事故」「設備事故」「交通事故」が防止され、NTT様はもとより、お客様に対して「きっちり工事」がお届けできる通信建設業界を目指すことを誓い合い閉会となりました。

本大会に、大変お忙しい中ご出席いただきましたご来賓・NTTグループの皆様にご感謝申し上げますとともに、大会の諸準備、運営にご協力いただいた関係各位に対し心からお礼申し上げます。

参加者は表3の通り1,828名と多くの方々に参加していただきました。

表3 大会概要

大会日時	平成25年12月3日 13:00 ~ 16:30		
場所	インテックス大阪 3号館・屋外展示場（大阪市住之江区）		
参加者	ご来賓・招待者	65名	合計 1,828名
	NTTグループ	1,035名	
	ITEA・会員会社	728名	



写真7 岸本NTTフィールドテクノ
関西支店長 閉会挨拶



写真8 安全大会会場



写真9 安全唱和
NTTフィールドテクノ関西支店 設備部
大内 秀和
日本電通 通信事業部 秋山 武士